

科目名	ロボット応用実習 3							年度	2025
英語科目名	Robot application practical training 3							学期	通年
学科・学年	ロボット科 2 年次	必／選	選 2	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	寺澤、石川	教員の実務経験		有	実務経験の職種		電子回路設計エンジニア(寺澤)		
【科目の目的】 ロボット業界で活躍するために必要な工具、材料などの応用技術を総合的に学びます。									
【科目の概要】 ロボットやものづくりに関する総合的な実習として、企業連携プロジェクトやロボット競技会へ向けた活動、インターンシップ（企業実習）、展示会見学などを単位認定します。									
【到達目標】 自主的に研究活動行うなど、積極的に取り組む姿勢を習得する。グループで一つのものを作り上げるために必要なチームワークや計画力などを習得する。									
【授業の注意点】 事前に、活動内容について、担任の許可を得ること。グループでの活動がある場合は、積極的に関わり、協力して作業を行うこと。中途半端に投げださず、最後まで完成させること。レポート提出必須。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力				
到達目標 A	基本工具の名前 使い方を理解している	基本工具の名前 使い方を理解している	ニッパ、ペンチなど 工具を利用 できる	ドライバー を区別して使う	ドライバーの 区別ができない				
到達目標 B	仕様に適した 材料を選定できる	アルミの 特性を理解している	アルミ材の加工が でる	アルミ、真鍮の 違いを知っている	材料を知らない				
到達目標 C	仕様に適した 回路を選定できる	回路図の 動作を理解している	回路図をもとに 組み立て ができる	回路図を 起こすこと ができる	回路を組み立て られない				
到達目標 D	仕様に適した 機構を選定できる	機構の 動作を理解している	図面をもとに 機構を組み立て ることができる	基本機構を 図面に起こすことが できる	機構を考えられない				
到達目標 E	仕様に適した プログラムを 選定できる	プログラムを 利用して動きを 変更できる	動きとプログラムの 関連を理解している	動作に必要な 動きを理解している	プログラム作成 ができない				
【教科書】 なし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 レポート（40%）授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表（口頭・実技）（30%）授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点（30%）積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

